

題: 多様なメディアの必要性を考える。

2099

名前:

私は新聞や雑誌は必要であると思う。

そのように考える理由の一つ目は、インターネットへのアクセスを持たない人にとって両者は共に重要な情報源であると考えられるからだ。昨今、デジタル・デバイドが問題となっており、私の父もほとんどインターネットを利用せず、新聞から世界の情勢についての知識を得ているが、父の世代やその上の世代にはまだこのような人は少なくないと考えられる。紙媒体のメディアは彼らにとって必要不可欠なものであり、それを廃止することはデジタル・デバイドの拡大につながる。

理由の二つ目は、情報を様々なリーチから入手できることは報道の自由の確保につながると考えられるからだ。かつて言論弾圧が容易であったのはメディアの数が少なかったからでもある。インターネットは我々の情報へのアクセスを容易にしてくれるが、過度にインターネットに依存することはかえって情報

の統制を容易にしてしまうという危険性を持つのではないだろうか。例えば中国やシリアではインターネット上の情報を統制しており、日本でも(世論の批判はあるだろうが)あくまで理論上の可能性としては可能である。我々がもしインターネット上の情報以外の情報にアクセスする術を失ったとしたら、インターネット上の情報が政府によって統制された場合に対処が困難になるだろう。様々な情報媒体があるということはそれだけ言論の自由が確保される可能性が大きくなるということで、報道の自由も従って確保されると思われる。

以上二点の理由により、私は新聞や雑誌などの紙媒体のメディアを含む多様なメディアの存在があらゆる人々の情報へのアクセスを容易にし、報道の自由を確保することにつながると考える。このため、私は新聞や雑誌は必要であると考え、

1800字